



1 八尾市水道ビジョン
策定にあたって

1 八尾市水道ビジョン策定の趣旨

八尾市水道事業は、昭和14年、八尾町、龍華町において給水を開始して以降、昭和23年の八尾市誕生およびその後の町村合併による市域拡大に伴う人口急増や産業の発展等に対応するため、6次にわたる拡張事業を実施し、現在まで約70年の間、水道水をお届けしてまいりました。

この間、平成7年の阪神・淡路大震災を契機に、耐震性の高い施設への増強を図るとともに貯水容量の拡大を実現し、また、「安全で安心なおいしい水」である「高度浄水処理水」へ切り替えるなど、水道事業は、質・量ともに高い水準を達成してきました。

また、こうした施設面での充実だけでなく、業務面でも昭和35年度から集金事務の委託を開始し、他市に先駆けて電算化を導入する一方、人件費の削減に取り組むなど、効率的経営に努めてきました。

しかしながら、水道水に対する需要は、少子高齢化・核家族化の一層の進行、市民・事業者等（以下「お客さま」といいます。）の環境に対する意識の高まりと節水行動の進展、あるいは大口需要者の地下水利用への移行などにより減少し、今後もこの傾向は続くものと見込まれています。

こうしたことに加え、高度経済成長期を中心に建設した水道施設の多くが次々と更新の時期を迎えようとしており、更新にかかる多額の費用を捻出するための財政力や、さまざまな課題を克服できる人材の育成、組織のあり方が問われています。

このようなことから、水道局では事業運営の基本理念と基本方針を示す中長期計画として、「八尾市水道ビジョン」を策定したものです。

2 八尾市水道ビジョンの位置づけ

八尾市水道ビジョンは、八尾市水道事業の最も重要な基本計画として位置づけし、国全体の水道ビジョン（平成16年度、厚生労働省策定）の内容を踏まえたうえで、八尾市の地域特性を加味して策定した地域水道ビジョンです。その計画期間は次期八尾市総合計画の計画期間（予定）と整合性をもたせ、平成20年度から平成32年度まで（13か年）とします。

なお、八尾市水道ビジョンの具体的な実行にあたっては、別途「財政計画」を策定し、その実現性を担保すると同時に、地方公営企業として効率的な事業運営に努めていきます。

3 八尾市水道ビジョンの進行管理

八尾市水道ビジョンを着実に実行するための経営部門を設置し、経営課題や戦略の研究等をしっかりと行っていく体制を整備します。

また、八尾市水道ビジョンは13か年という長い期間の計画であるため、変化の激しい現代社会において情勢の変化に的確に対応できるよう、一定の期間ごとに計画の見直しを行っていき、実効性を保ちながら計画を実行していきます。